



大雨による災害での対応を知ろう

雨が多くなるこれからの時期、洪水や河川の氾濫、土砂崩れなどが発生しやすくなります。特に梅雨の終わり頃は、大雨の頻度が高くなります。

自分や家族の身を守り、被害を最小限にするためにも最新の気象情報を確認し、早めの準備と行動を心がけるようにしましょう。

「大雨警報」「土砂災害警戒情報」の発令が避難の目安

避難の目安は、高齢者の方は「大雨警報」が発令された時、それ以外の方は「土砂災害警戒情報」が発令された時です。「大雨特別警報」の時点では、すでに災害が発生し、避難することが困難な状況の場合もありますので、自分や家族がどのタイミングで避難するべきか把握しておきましょう。

また、大雨や氾濫の注意報が発令された段階で、ハザードマップなどで避難先や避難経路を確認しておくといでしょう。

警戒レベル	土砂災害に関する警報など	浸水に関する警報など
5相当	大雨特別警報(土砂災害)	氾濫発生情報
警戒レベル4相当までに必ず避難！		
4相当	土砂災害警戒情報	氾濫危険情報
3相当	大雨警報	氾濫警戒情報 洪水警報
2相当	-	氾濫注意情報
1相当	-	-

意外と知らない！？ 大雨での避難のポイント

Q. 災害のときは車を使っていち早く逃げたほうがいい？

A. どんな災害でも車で避難しないのが原則です。

車での避難は、渋滞や事故の発生、緊急車両の通行の妨げにつながります。また、街が浸水し、水量が増えると、車から脱出できず、そのまま水没する危険性もあります。運良く車から脱出できた場合でも、身動きが取れず、避難場所までたどり着くことも困難になるため、車を使わずにいち早く避難するようにしましょう。

Q. 大雨・土砂災害ではどんな状況でも小中学校などへ避難するのがいい？

A. 状況に応じて夜間や避難経路が危険な場合は近くの2階以上ある建物への一時避難も視野に入れましょう。

小中学校など避難所になっている公的施設へ移動することが最善だという固定概念で、夜間や道路が浸水しているなど状況が悪いなか避難して被災した事例が多くあります。一番良いのは早めの行動ですが、見通しの悪い夜間や道路が水浸しになっているなどの危険な状況や、がけ崩れや土砂流発生のある場所を通過するの避難になりそうなきには、自宅や近くの2階以上の建物への一時避難も考えましょう。

常陸大宮市ホームページでは、「防災ポータル」を公開しています。防災無線の内容を文字により確認できたり、市内の防災マップや洪水・土砂災害ハザードマップなどを確認することができますので、ぜひご利用ください。

